



洗浄機のオイルは何を入れればいい？



～オイルの定期的な点検&交換が長もちの秘訣です！～

※それぞれの機械に合った正しいオイルを入れましょう。

オイルの基礎知識 オイルの役割って？

オイルの役割は主に下記の5種類に分類されます。

- 潤滑、減摩作用 → ポンプとシリンダーのすきまをオイルが密封・潤滑しあわせてピストンリングがピストンにへばりつかないようにスラッジやカーボンを取り除く役割をしています。
- 密封作用 →
- 冷却作用 → 冷却水の代わりにオイルが各部に行き渡り、冷却しオーバーヒートを防いでいます。
- 清浄分散作用
- 防錆、防食作用 → オイルや発生した水分などは金属を腐食させるために酸処理剤などで錆や腐食磨耗を防いでいます。

推奨オイル		
	駆動源(エンジン)	ポンプ部
高圧洗浄機	 	<p>SEIWA 純正洗浄機用オイル ジェットクリーンオイル</p> <p>両方とも 同じオイルでOK!</p> <p>負荷が高い機械や大型の機械に最適！ 弊社防音洗浄機シリーズにも安心して お使いいただけます。 4サイクル用エンジンオイル</p>  <p>CD201971 4 L缶</p>  <p>1 L缶 CD201970</p>

エンジン・ポンプ共にジェットクリーンオイルです。交換時期の目安は下記の通りです。

	駆動源(エンジン)	ポンプ部
交換時期の目安	<ul style="list-style-type: none"> ●初回50時間 ●2回目以降は100時間毎に交換 オイル量0.6~1.2㍓ <p>⚠ 初回のオイル交換は50時間で</p> <p>使用開始当初は、金属のパーツ同士が擦れ合い、金属粉が出ます。これを一度捨てて頂くため、50時間での交換となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●初回50時間 ●2回目以降は200時間毎に交換 オイル量0.3~0.6㍓ <p>⚠ オイルが減ったら注ぎ足してください</p> <p>オイルが足りない状態で使い続けると、焼付いて止まります。この場合の修理はポンプやエンジンの乗せ換えになり、費用が10万円以上かかることも。</p>

ポンプ部にはオイルセンサーが無いので、オイル不足には特にご注意ください！



◆ご不明な点がございましたら、お問合せください◆